



株式会社ブリヂストン 会社紹介

Welcome to Bridgestone

目次

第1章 ブリヂストンの概要

- 1.概要
- 2.事業紹介
- 3.沿革

第2章 ブリヂストンの事業展開

- 1.ブリヂストングループの世界の拠点
- 2.連結業績推移
- 3.グローバルでの地域別構成比
- 4.世界のタイヤ市場シェア（売上高ベース）

第3章 企業理念体系とビジョン

- 1.使命
- 2.企業理念体系
- 3.ビジョン
- 4.企業コミットメント
- 5.中長期事業戦略
- 6.ブリヂストン これまでの歩みと目指す未来

第4章 ブリヂストンのサステナビリティと社会貢献活動

- 1.ブリヂストンのサステナビリティと社会貢献活動
- 2.社会貢献活動事例

第1章 ブリヂストンの概要

1. 概要

社名	株式会社ブリヂストン
本社所在地	東京都中央区京橋3丁目1番1号
設立年月日	1931年（昭和6年）3月1日
創業者	石橋 正二郎（いしばし しょうじろう）
取締役 代表執行役 Global CEO	石橋 秀一



石橋 秀一
（いしばし しゅういち）

取締役 代表執行役
Global CEO



東 正浩
（ひがし まさひろ）

取締役 代表執行役
Joint Global COO



パオロ・フェラーリ

執行役
Joint Global COO

業績データ

創業時（1931年）		現在（2021年12月期）	
資本金	100万円	・連結売上収益	3兆 2,461億円
従業員数	144人	・親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,940億円
		・資本金	1,263億円
		・連結従業員数	135,636人
		・単体売上高	8,395億円
		・単体純利益	1,670億円
		・単体従業員数	14,745人



（株）ブリヂストン本社（東京）

2. 事業紹介

タイヤ事業

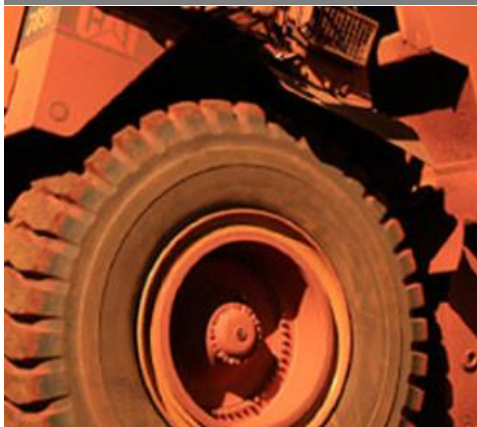
乗用車用タイヤ



トラック・バス用タイヤ



鉱山・建設車両用タイヤ



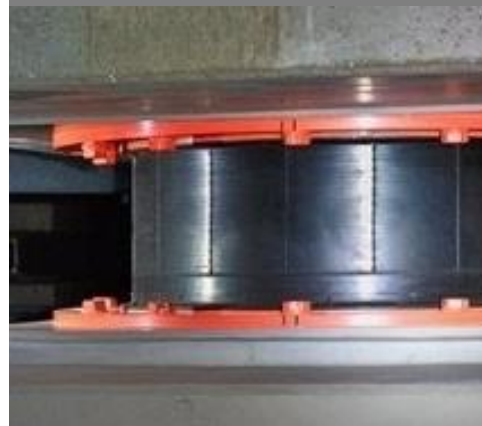
航空機用タイヤ



その他タイヤ（産業車両用、農業機械用、二輪自動車用他）

化工品・多角化事業

免震ゴム



ホース



自転車



スポーツ用品



2. 事業紹介

タイヤセントリック ソリューション事業	リトレッドソリューション (タイヤ+リトレッド+メンテナンス)	 	
	鉱山ソリューション	 	
	航空機ソリューション		
小売・サービス 事業	サブスクリプション (タイヤ+メンテナンス+サービスパッケージ)		
	モバイルバンサービス		
	小売サービス (タイヤ周りのサービス+メンテナンス)		
	小売ファイナンス		
モビリティ ソリューション事業	フリート（運送）ソリューション		
	デジタルデータサービス		

3. 沿革

- 1889 創業者、石橋正二郎 福岡県久留米市に誕生
- 1906 家業「志まや」の仕立物業を引継ぎ、足袋の専業を開始
その後地下足袋事業に成功し、ゴム靴事業へ進出
- 1930 自動車タイヤの起業を決定
- 1931 「ブリヂストンタイヤ株式会社」を福岡県久留米市に設立
マザープラントの久留米工場が操業開始



創業者：石橋正二郎（1889-1976）

創業者 石橋正二郎 - 文化事業を通じた社会貢献

- 1928 九州医学専門学校（現久留米大学）学校用地 寄贈
- 1952 東京に本社ビル落成、同ビル内にブリヂストン美術館
（現 アーティゾン美術館）開館
- 1956 石橋文化センター、石橋美術館（現 久留米市美術館） 寄贈
- 1969 東京国立近代美術館 寄贈



石橋文化センター

第2章 ブリヂストンの事業展開

1. ブリヂストングループの世界の拠点

生産拠点数 (2022年9月1日現在)

		米州	欧州・中近東 アフリカ ロシア	中国・アジア 大洋州	日本	合計
タイヤ	新品タイヤ工場（*1）	15	11	13	10	49
	タイヤ関連工場（*2）	8	2	5	11	26
	計	23	13	18	21	75
原材料工場		5	2	6	2	15
多角化製品工場		6	2	5	11	24
生産拠点数	合計	34	17	29	34	114
現在 建設中	新品タイヤ工場（*1）	0	0	0	0	0
	タイヤ関連工場（*2）	0	0	0	0	0
	原材料工場	0	0	0	0	0
	多角化製品工場	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0

*1新品タイヤ工場 (21カ国) にタイヤ関連工場 (+2カ国)、原材料工場 (+1カ国)、多角化製品工場 (+2カ国) を合計

*2新品タイヤ工場：新品タイヤ工場、及び新品チューブ・フラップ工場

*3タイヤ関連工場：海外の航空機用リトレッドタイヤ工場、リトレッド用部材工場、タイヤ金型工場、タイヤ・スチールコード製造設備等の製造工場

研究開発拠点数 (2022年9月1日現在)

	米州	欧州・中近東 アフリカ ロシア	中国・アジア 大洋州	日本	合計
技術センター	1	1	2	2	6
ブルービンググラウンド	4	1	3	2	10

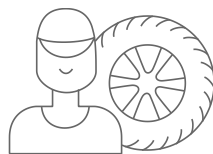
1. ブリヂストングループの世界の拠点



原材料



研究開発



生産



販売

地産地消

市場の近くでニーズにより早く対応

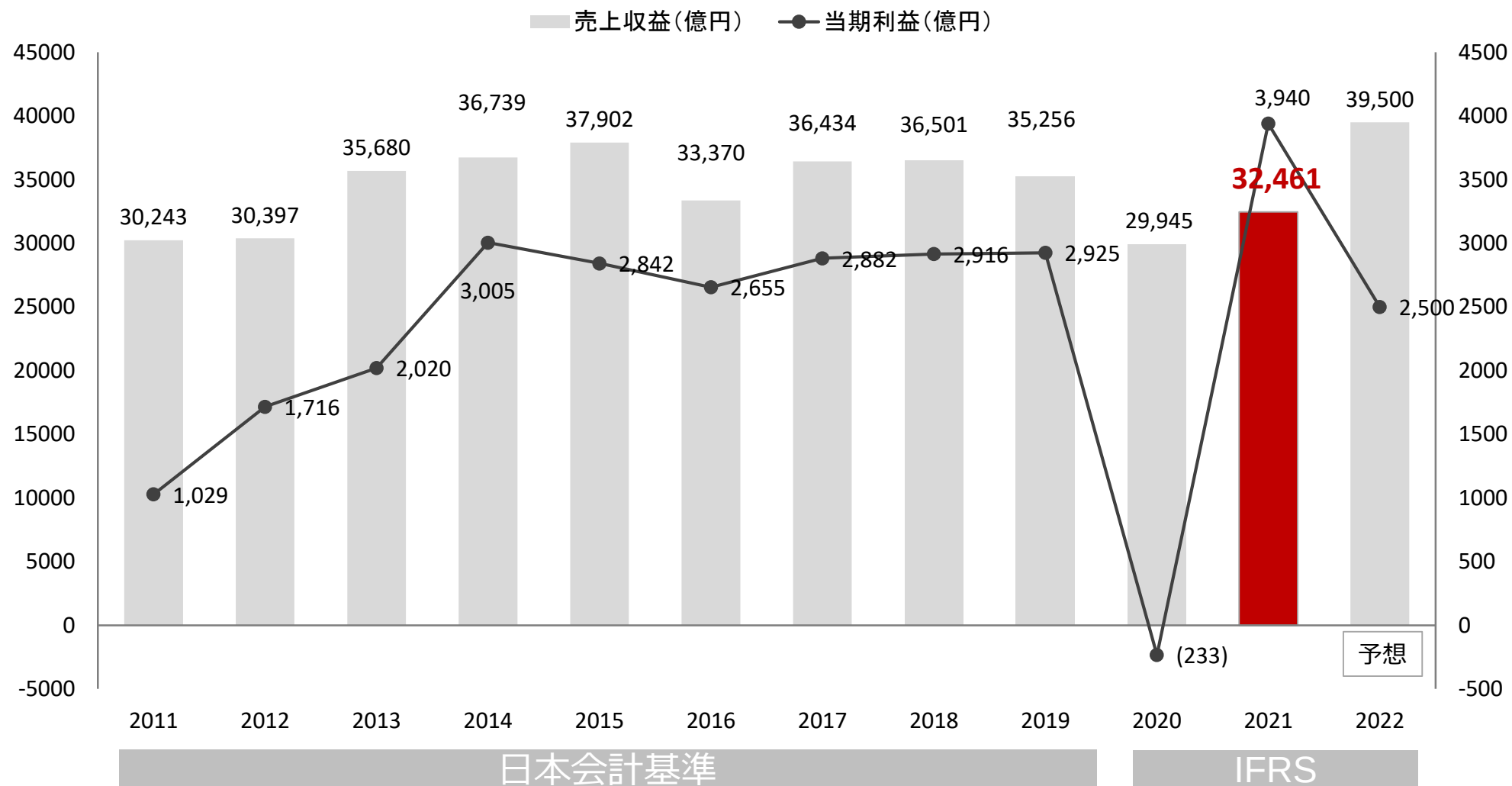


原材料・研究開発～販売まで自社拠点を保有

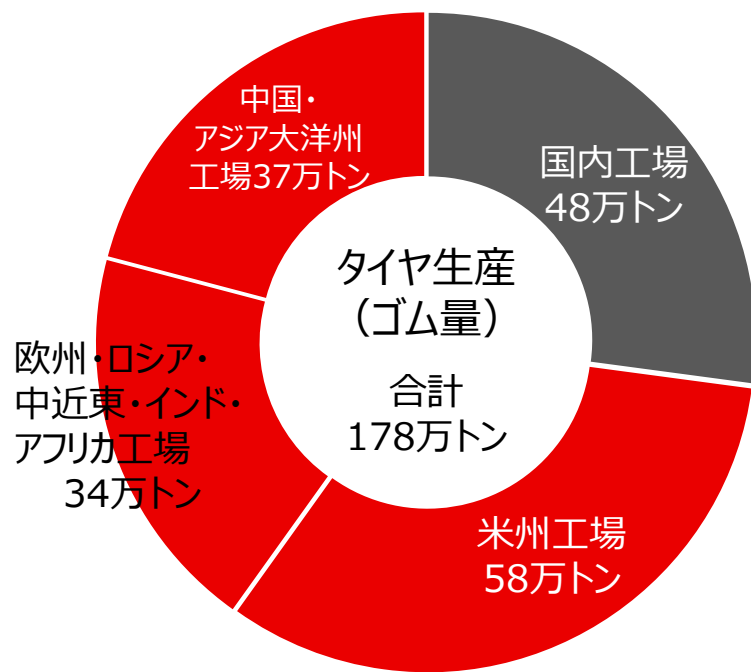
点ではなくサプライチェーン全体での取組み

世界のあらゆる場所でお客様の要望に応えるべく
グローバルな企業活動を展開

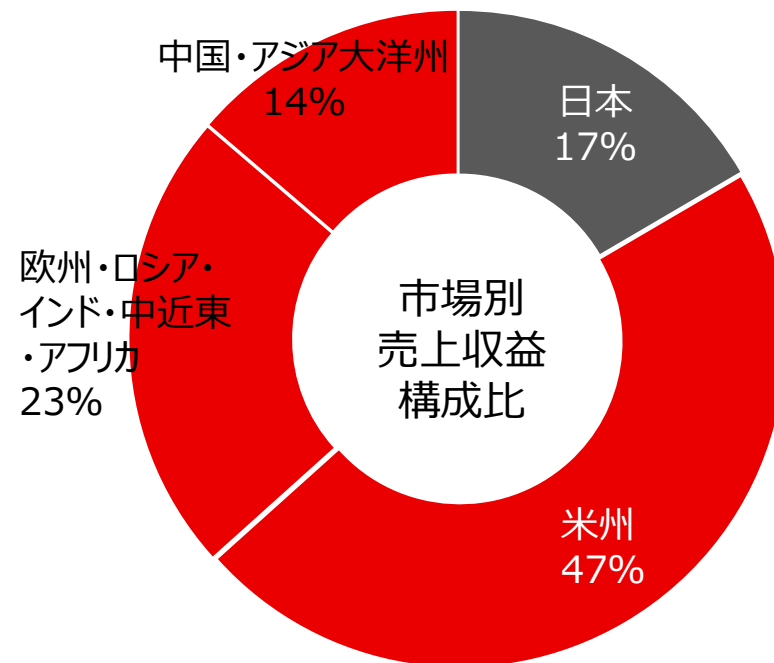
2. 連結業績推移



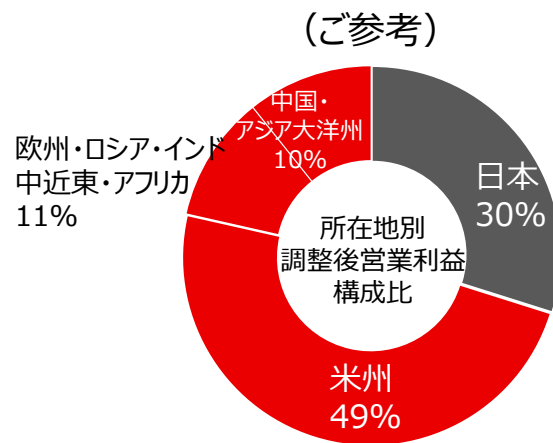
3. グローバルでの地域別構成比



海外生産比率：73%

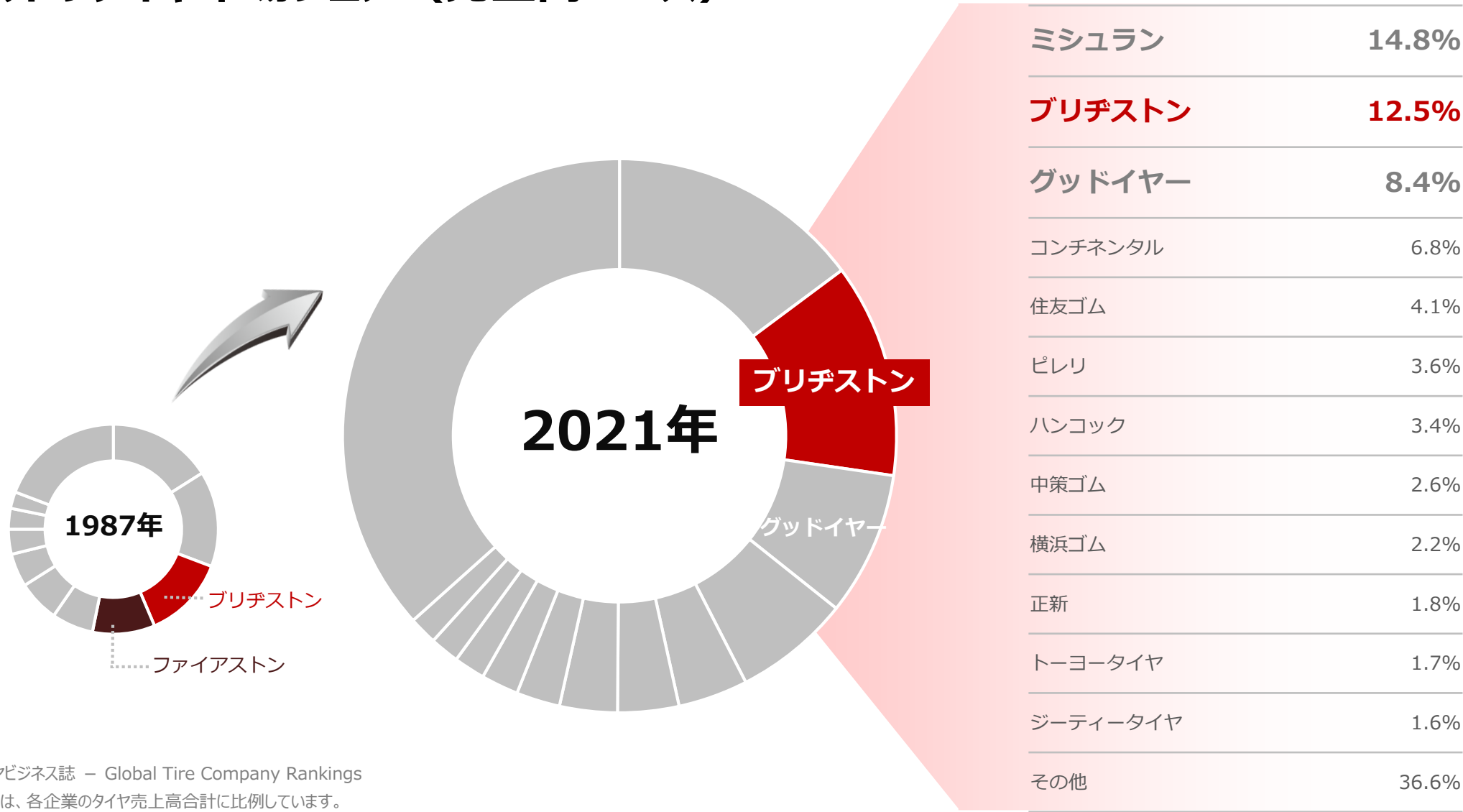


海外売上高比率：83%



海外調整後営業利益比率：70%

4. 世界のタイヤ市場シェア（売上高ベース）



資料出典：タイヤビジネス誌 - Global Tire Company Rankings
※円グラフの面積は、各企業のタイヤ売上高合計に比例しています。
1987年：40,250百万米ドル 2021年：177,500百万米ドル

第3章 企業理念体系とビジョン

1. 使命

使命

Mission

最高の品質で社会に貢献

VISION

2050年

サステナブルなソリューションカンパニーとして
社会価値・顧客価値を
持続的に提供している会社へ

4. 企業コミットメント “Bridgestone E8 Commitment”



The graphic features a central circular logo with the Bridgestone 'B' logo at the top, the text 'E8' in large bold letters in the center, and 'COMMITMENT' at the bottom. Surrounding this central logo is a ring divided into eight segments, each labeled with one of the 'E8' pillars: Energy, Ecology, Efficiency, Extension, Economy, Emotion, Empowerment, and Ease. Eight diverse children are standing in a circle around the logo, holding hands, symbolizing global unity and future generations.

BRIDGESTONE

私たちブリヂストンは、
2050年へ向けて、サステナブルなソリューションカンパニーへと進化していく。
私たちらしい8つの「E」、私たちらしい8つの価値を、私たちらしいやり方で創出していくことで、
持続可能な社会を支えることにコミットしていく。

Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。
Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。
Efficiency モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。
Extension 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。
Economy モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。
Emotion 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。
Ease より安心で心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。
Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。ブリヂストンはコミットする。

5. 中長期事業戦略構想

サステナビリティを中核とした中長期事業戦略構想 2020年～ Bridgestone 3.0 (第三の創業)

使命

最高の品質で社会に貢献

ビジョン

2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

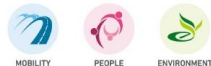
Solutions for your journey

安心 (Care), 信頼 (Confidence), そして創造力 (Creativity)

社会価値の創造

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

Our Way to Serve



環境中長期目標

社会価値・
顧客価値の両立
(安全性・環境性・経済性・生産性)

競争優位の
獲得

モビリティシステムを“支える”

BRIDGESTONE
T&DPaaS

共創・イノベーションでソリューションを

サステナビリティを中核とした独自のビジネスモデル
モビリティ貢献、サーキュラーエコノミー貢献、CO₂削減貢献

顧客価値の創造

お客様の困りごと解決

お客様とともに新たな価値を創出

事業戦略

Our Way to Serve 基盤領域

コンプライアンス
公正な競争

BCP (事業継続計画)
リスクマネジメント

人権・労働慣行

労働安全・衛生

調 達

品質・お客様価値

ガバナンス

約束を守り実行し、相互理解と信頼を構築する

変化に対応する適正な意思決定と実行の仕組み

価値共創の仕組み

6. ブリヂストン これまでの歩みと目指す未来

最高の品質で社会に貢献

断トツ × 真のグローバル企業

グローバル経営 × ガバナンス強化

1931-
Bridgestone 1.0 ○ 創業

タイヤ・ゴム事業

日本で創業、アジアへ展開

1988-
Bridgestone 2.0 ○ グローバル化
(第二の創業)

グローバルへ進出

1988年 Firestone買収
2007年 Bandag買収
2019年 Webfleet Solutions買収

2020-
Bridgestone 3.0 ○ ソリューション化
(第三の創業)

タイヤ・ゴム事業
×
ソリューション事業

Bridgestone T&DPaaS推進

サステナブルな「ソリューションカンパニー」へ

第4章 ブリヂストンのサステナビリティと社会貢献活動

1. 社会価値の創出に向けて

- 「持続可能な開発目標（SDGs）」達成へ向けた主な貢献：
17目標のうち、特に13目標に対し貢献



- サステナビリティフレームワーク

事業活動や社会貢献活動、
あらゆるパートナーとの共創活動を通じて
社会・お客様への価値を創出するための
サステナビリティの考え方



<社会貢献活動>

- ・地域社会や現在・将来のパートナーとの信頼の醸成
- ・選ばれるべきパートナーとしての高い信頼性

- 自然共生
- 地域社会の課題解決、地域との共生など

2 . 社会貢献活動事例

交通安全



- プロの運転手の安全運転支援
- 子どもたちを交通事故から守る活動

地域との共生



- 子どもの放課後学習プログラム支援
- 地域の健康増進プログラム支援
- COVID-19関連支援

自然との共生



- 生物多様性貢献活動推進
- ブリヂストン環境教室

未来に対する責任を果たしていくことで、社会・お客様・パートナーからの信頼を醸成

